



Title	阪大音楽学報 第19号 編集後記/奥付/裏表紙
Author(s)	
Citation	阪大音楽学報. 2023, 19
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/98496
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

編集後記

文学研究科が人文科学研究科となり（2022年度から）、中之島芸術センターができ（2022年10月）、そして美学科創設50周年（2023年度）、と色々な意味で曲がり角の「阪大音楽学」からの報告です。何より優れた論考を寄せてくださった寄稿者の皆さんにお礼と、そして発行が遅くなってしまったことへのお詫びを。国内では数少ない音楽学に特化した機関誌ですので、今後もなんとか発刊し続けたいと思います。

（伊東信宏）

なんとか年度内に刊行でき、胸をなでおろしています。特に論文投稿者のみなさまにはたいへんお待たせしました。できあがってみれば、質、量ともに非常に充実したものになったと自負しています。と、典型的に「喉元過ぎれば熱さを忘れる」性質なのが仕事が遅れる原因でしょうか。ともあれ、各論文が引き起こすに違いない反響が今から楽しみです。

（輪島裕介）

遅くなりましたが、年度内に『学報』を発行することができました。今号は論文の掲載数も多く、とても読み応えのある一冊となっています。執筆者の皆様、査読を担当してくださいました先生方、校正補助に入ってくださいました皆様、その他刊行にあたりご助力いただいた関係者の皆様に心より感謝を申し上げます。

（吉村汐七）

阪大音楽学報 第19号

発行日：令和5（2023）年3月15日発行

発行所：大阪大学文学部・大学院人文科学研究科
音楽学研究室

〒560-8532 豊中市待兼山町1-5

Tel 06-6850-5124

Fax 06-6850-5124

<https://musicologyosaka.wordpress.com>

編集委員会：伊東信宏、輪島裕介、吉村汐七

編集補助：青嶋絢、菊池虎太郎、佐藤馨、杉山恵梨、
玉田千里、張佳能、藤下由香里

印刷：株式会社 ケーエスアイ

〒557-0063 大阪市西成区南津守7-15-16

©2022 大阪大学大学院人文科学研究科 音楽学研究室
不許可複製 ISSN 1348-0456

HANDAI ONGAKUGAKUHŌ vol.19 (Journal of HANDAI Music Studies)

Published March 2023

Publisher:

Osaka University (=HANDAI), Musicology Division

1-5 Machikaneyama-cho, Toyonaka-city,

Osaka 560-8532, Japan

Tel: +81-(0)6-6850-5124

Fax: +81-(0)6-6850-5124

Homepage: <https://musicologyosaka.wordpress.com>

Editors: ITO Nobuhiro, WAJIMA Yusuke, YOSHIMURA Sena

Assistant Editors: AOSHIMA Aya, KIKUCHI Kotaro, SATO Kaoru,

SUGIYAMA Eri, TAMATA Chisato,

ZHANG Canon, FUJISHITA Yukari

Printer: KSI Co., Ltd.

7-15-16 Minamitsumori Nisinari-ku,

Osaka-city, Osaka 557-0063, Japan

©2022 Osaka University, Musicology Division
All right reserved. ISSN 1348-0456

HANDAI ONGAKUGAKUHŌ

VOL. 19 (2022)

1962 als Wendepunkt der Orgelmusik : Die Orgelwerke von György Ligeti	1	SAGAWA Jun
The Process of Establishing “Kayokyoku” as a Broadcasting Term on Radio in the Early Years of the Showa Period	23	TERANISHI Atsushi
An investigation into the nature of the preluding applied by Josef Hofmann (1876–1957) in concert	47	WASHINO Akiko
The Impacts of the “Baroque fad” on the popularization of “Baroque music” in Japan	75	ZHANG Canon MISHIMA Kaoru
An Analysis of the notion the “City of Music” in Newspaper Articles from the 1990s-2010s	97	HIGO Konomi
Changes in Synchronized Performance with Digitization : The Impact of the MIDI Standard and DX7	123	YOSHIMURA Sena
The Current Situation of Armenian Pop-Folk	145	KIMURA So
“Music and people in Kansai area” from Osaka Nichinichi News paper 2020.4.–2022.3.	<1>	